ふれあうナカマ 育む 見守る

学校は地域と共に歩んでいます。宮城県内の小中学校の様子、自慢できることを、児童・生徒が紹介します。

育む 見守る ふれあうナカマ

豊里小中

地域の課題 みんなで探る

１年生を迎える会の様子

これがイチオシ

教科担任制 小学校でも

私たちの学校は小中一貫教育を実施しており、義務教育の９年間を同じ校舎で学び、中学生は７、８、９年生と呼んでいます。また、３年生から中学生のような教科担任制を一部に取り入れて学力の向上に努めています。

行事も小中一貫です。ただ新型コロナの影響で規模は縮小し、小、中学生で別々に行い、一緒に活動する機会は少なくなりました。以前のように全校で合唱をしたり、１年生と９年生が協力して玉入れをしたりできるようになる日を、みんなで待ち望んでいます。

学校名　登米市立豊里小・中学校
所在地　登米市豊里町上町裏100
創　立　（小中一貫本格実施）2006年
電　話　0225(76)2039
校　長　大場　正浩
児童生徒　489人

解決策発表 新たな試み

豊里小中学校では交通指導やあいさつ運動、読み聞かせ、職場体験などで、地域の方々のお世話になっています。このため地域のためにできることはないかと、今年は総合的な学習の時間で新しい試みを始めました。

８年生（中学２年）は稲荷神社に伝わる「上町法印神楽」について、宮城県指定無形文化財に登録されていることや後継者不足で継承が危うい現状にあることを学びました。神楽に関心を持った人たちが体験会に参加するなど変化がみられるようになりました。

最上級の９年生は地域のまちおこしについて、登米青年会議所の方々にご指導いただき、地域の課題と解決策を考え、プレゼンテーションを行いました。あらためて学んだことで地域をより意識するようになりました。

新型コロナウイルスの感染が収束し次第、これまでのように地域の方々をお招きし、たくさんのことを学ばせていただきたいと思います。将来、自分たちが地域を活性化できるよう、今後も精いっぱい頑張ります。

地域の課題と解決策を発表したプレゼンテーションの様子

編集委員　藤村遥、阿部理仁、阿部未来、小寺さくら（９年＝中学３年）
指導教員　遠藤孝

わが校 わがまち スクール通信

次回は
白石二小（白石市）
石巻中（石巻市）

手作業で田植え 苦労体感

館腰小

5年生が恒例の米作り

館腰小学校では総合的な学習「食について考えよう」の一環として、５年生が毎年、手作業による田植えと稲刈りを体験します。このうち５月の田植えを紹介します。

ご協力いただいたのは農事組合法人「U・M・A・S・I・」（ウマシ）と農協の方々です。生まれて初めて入った田んぼはとてもぐちゃぐちゃ。植える時「転んで服が汚れるのではないか」と、とても心配でした。

足が田んぼにすっぽりはまってしまうと、なかなか抜けずに一苦労。植えた苗はまっすぐ立たずに倒れたり曲がったりと大変でした。

今はほとんどの作業が機械であっという間ですが、昔の米農家さんはこんなに手間をかけ植えていたのだと知りました。

体験後、農事組合の方からキーホルダーをいただきました。田植えを体験すると入手でき、作った１０００個は残り１００個ほどしかないそうです。貴重なキーホルダーを大切にしたいです。

10月の稲刈りまで、苗がすくすくと育つよう、大切に世話をします。

田植えを体験する5年生たち。左下は「U・M・A・S・I・」のキーホルダー

編集委員　桜井りな、中沢乃愛（６年）中川隼汰、相沢登和、荒川心（５年）
指導教員　森玲子

これがイチオシ

東北最大の前方後円墳

館腰小の西側には東北最大の前方後円墳「雷神山古墳」があります。全長168メートル、横幅96メートルにも及ぶそうです。６年生は先日、名取市歴史民俗資料館へ校外学習に出かけ、そこで、雷神山の細部まで作り込まれた模型を見学しました。

館腰小の児童は毎年、いろいろな学習で雷神山に登ります。春には満開の桜。夏は青葉や昆虫。秋は紅葉。冬には落ち葉。一年を通してすばらしい見どころがたくさんあります。ぜひ、みなさんも遊びに来てくださいね。

学校名　名取市立館腰小学校
所在地　名取市植松１の２の17
創　立　1873年
電　話　022(382)2425
校　長　千葉　由美子
児　童　338人